

# 「小松商工会議所景気見通し調査」

## 結果報告書

調査期間 令和 4年 6月

小 松 商 工 会 議 所

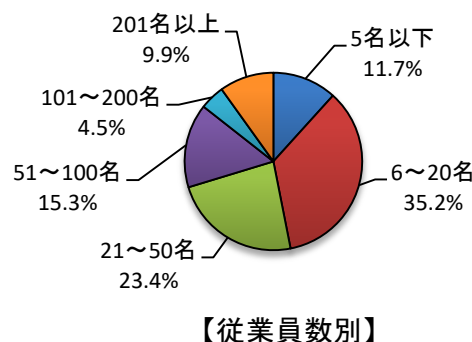
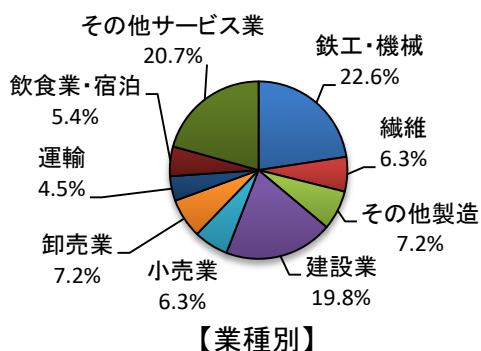
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 220社

回答企業数 111企業（回答率 50.5%）

| 業種 / 従業員数 |          | 5名以下 | 6～20名 | 21～50名 | 51～100名 | 101～200名 | 201名以上 | 合計  |
|-----------|----------|------|-------|--------|---------|----------|--------|-----|
| 製造業       | 鉄工・機械    |      | 2     | 6      | 8       | 2        | 7      | 25  |
|           | 繊維       | 1    | 2     | 3      | 1       |          |        | 7   |
|           | その他製造    | 2    | 3     | 1      | 1       | 1        |        | 8   |
| 建設業       |          | 1    | 11    | 8      | 2       |          |        | 22  |
| 小売業       |          | 2    | 1     |        | 3       | 1        |        | 7   |
| 卸売業       |          |      | 6     | 1      |         | 1        |        | 8   |
| サービス業     | 運輸       |      | 1     | 2      | 2       |          |        | 5   |
|           | 飲食業・宿泊   | 2    | 3     | 1      |         |          |        | 6   |
|           | その他サービス業 | 5    | 10    | 4      |         |          | 4      | 23  |
| 合計        |          | 13   | 39    | 26     | 17      | 5        | 11     | 111 |



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI値 ……DI(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前期 ……令和3年度第4四半期(令和4年1月～3月)

今期 ……令和4年度第1四半期(令和4年4月～6月、但し6月は見込み)

来期 ……令和4年度第2四半期(令和4年7月～9月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景況感……………DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売上高……………DI値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

## (1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

|     | 鉄工・機械 |    | 繊維 |    | その他製造 |    | 建設業 |    | 小売業 |    | 卸売業 |    | サービス業 |    |
|-----|-------|----|----|----|-------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|
|     | 今期    | 来期 | 今期 | 来期 | 今期    | 来期 | 今期  | 来期 | 今期  | 来期 | 今期  | 来期 | 今期    | 来期 |
| 好調  | 1     | 4  | 3  | 1  | 1     | 1  | 1   | 2  | 2   | 1  | 2   | 1  | 7     | 3  |
| 不変  | 20    | 17 | 3  | 5  | 6     | 6  | 11  | 13 | 1   | 2  | 4   | 6  | 17    | 24 |
| 悪化  | 4     | 4  | 1  | 1  | 1     | 1  | 10  | 7  | 3   | 3  | 2   | 1  | 9     | 6  |
| 無回答 |       |    |    |    |       |    |     |    | 1   | 1  |     |    | 1     | 1  |
| 総計  | 25    |    | 7  |    | 8     |    | 22  |    | 7   |    | 8   |    | 34    |    |

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

## 【今期：好転の理由】

|  |
|--|
| コロナ制限緩和（繊維）  |
| 受注量が大幅に増加（繊維）  |
| 2年ぶりに少しだが注文が入ってきた（繊維）  |
| 原料高につき、前もって買っておく行動にでてきていると思われる（繊維）   |
| コロナ感染の売上不振の影響を受けている一部の分野が緩和してきた傾向がみられる状況だが、全体的には依然厳しく、2年半の経営を圧迫してきた負の財産が大きい（小売業） |
| コロナ禍前とまではいかないが、少しずつ好転している（卸売業）   |
| 去年に比べ仕事が増えた（運輸）  |
| コロナが落ち着いているため（飲食業・宿泊）  |
| コロナ状況が感染者数減少により、客数が増えてきた（飲食業・宿泊）   |
| 時短営業が無くなり、通常営業に戻ったため（飲食業・宿泊）   |
| 県民割や食事券のおかげで少し動きがみられた（飲食業・宿泊）  |
| 6月の予約が多い（飲食業・宿泊）   |
| まん延防止法が解除され、個人の消費が戻ってきたため（その他サービス業）  |

## 【今期：不変の理由】

|  |
|--|
| 生産計画が6月までは変わらずある為（鉄工・機械）   |
| 主要顧客の生産量に大きな変化が見られないため（鉄工・機械）  |
| 引き続き高操業が続いているため（鉄工・機械）   |
| 大きな変動要因が見当たらない（鉄工・機械）  |
| 今期は先ず先ずだが、来期は下がってくるだろう（鉄工・機械）  |
| 受注増（鉄工・機械）   |
| 材料費等の値上げ（鉄工・機械）  |
| 観光バス生産の低迷が続く（鉄工・機械）  |
| 状況次第で動きが変わる（鉄工・機械）   |
| 季節性の影響のため（鉄工・機械）   |
| 各部署の稼働率（鉄工・機械）   |
| 主力取引先が相変わらず低調であり全体の売上は伸び悩んでいる。値上げ交渉により販売単価は好転したが、それ以上に粗原料・エネルギー費などの上昇が激しく、採算性は悪化している（繊維） |
| スポーツ織物用途の販売が増加傾向（繊維）   |
| 辛うじて維持した(受注・売上高)（その他製造）  |
| 計画通りの販売量で推進（その他製造）   |
| 値上げによって少しだけ売上げは増えたが、コストアップ分までカバーできていないので採算性は若  |

|   |
|---|
| 干悪化（その他製造）                                |
| 相変わらずコロナの影響で行事が縮小されているため、印刷の依頼が少ない（その他製造） |
| 事業により差はあるが全体的には大きな浮き沈みはない（建設業）            |
| 実績ベースで判断（その他製造）                           |
| 工事の発注に関して、増加と言う程でもないが、減少しているとは感じとれない（建設業） |
| 官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）                 |
| 外注、資材、経費の高騰（建設業）                          |
| この時期、業界は比較的忙しくない（建設業）                     |
| 主要需要先(建機・工作機械業界)の動向に変化は見られない（卸売業）         |
| オフィス事業・民間・官庁向け共に好調であり、移送料も堅調に推移している（運輸）   |
| 特に変動がないため（運輸）                             |
| コロナがなくなり人が出、会合が多くなれば良い（飲食業・宿泊）            |
| 受注の減少は見られない（その他サービス業）                     |
| 例年通り（その他サービス業）                            |
| 航空利用者数の回復傾向が見られる（その他サービス業）                |
| コロナによる利用控えが少ないため（その他サービス業）                |
| 著変なし（その他サービス業）                            |

#### 【今期：悪化の理由】

|  |
|--|
| 主力の建機が上海のロックダウンの影響を受け、計画達成が出来なかった（鉄工・機械）             |
| 例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）                                    |
| 納期及び仕切価格が確定しない（建設業）                                  |
| 円安加速で輸入業者全て痛手（建設業）                                   |
| 知事選や参議院補選、資材の高騰などの影響で受注高が減少している（建設業）                 |
| 受注減少だけでなく、先行き不透明の中、案件件数の減少（建設業）                      |
| 工事の受注の減少・仕入単価の上昇（建設業）                                |
| 公共工事の減少（建設業）   |
| 店舗改装で2週間休んだので売上低下（小売業）                               |
| 店舗減少、オンライン移行（小売業）                                    |
| 為替レート、物流費、原材料費等高騰で物の動きが悪い、特に石油製品が1年間で40%程上昇している（卸売業） |
| 毎年4～6月は閑散期である（運輸）                                    |
| 売上減(その他サービス業)  |
| 受注額が減ってきた（その他サービス業）                                  |
| 仕入値の悪化をマーケットが吸収して転嫁できないのでは（その他サービス業）                 |

#### 【来期：好転の理由】

|  |
|--|
| 受注増の見込み（鉄工・機械）                                       |
| 例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）                                    |
| 引き続き、原料・仕入高の傾向（繊維）                                   |
| 今後は良くなると思う（繊維）                                       |
| スポット物が増える見通しの為（その他製造）                                |
| 大型受注が確定している（建設業）                                     |
| コロナ感染による売上不振の影響を受けている分野の緩和が拡大してきそうな状況が予測される<br>(小売業) |

|                                    |
|------------------------------------|
| 閑散期を脱するため（運輸）                      |
| 良くなって欲しい（飲食業・宿泊）                   |
| 少人数ながらグループでの予約が増えてきた(ディナー)（飲食業・宿泊） |

**【来期：不変の理由】**

|   |
|---|
| 主要取引先の計画上、引き続き高生産の予定（鉄工・機械）                         |
| 主要顧客の生産量に大きな変化が見られないため（鉄工・機械）                       |
| 来期も同様の受注量が決まっているため（鉄工・機械）                           |
| 建設機械の生産計画が横ばいのため（鉄工・機械）                             |
| 円安になっているが、内示受注が安定している（鉄工・機械）                        |
| 7月・8月と一部生産量が減少する製品がある為（鉄工・機械）                       |
| 季節性の影響のため（鉄工・機械）                                    |
| あらゆる値上げが始まり、購買意欲が削がれると思う（鉄工・機械）                     |
| 今期の状況が継続するものと推定（繊維）                                 |
| 購買意欲向上（繊維）  |
| 7月以降もあまり好材料が見当たらない（繊維）                              |
| 市場が減少していくなか、自主努力により出荷量増加を行う（その他製造）                  |
| 来期はこのままだと思う（その他製造）                                  |
| 需要は計画通りの見込み（その他製造）                                  |
| 外注、資材、経費の高騰（建設業）                                    |
| 材料(木材)などの価格高騰のため（建設業）                               |
| 今後の材料の納入期の延滞を思うと、設備強化など遅らせる企業が出てくる（建設業）             |
| 受注増加が見込まれないため（建設業）                                  |
| 官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）                           |
| 資材の高騰などの影響があるものの、公共工事などの発注が伸びれば回復すると期待している<br>(建設業) |
| 事業により差はあるが全体的には大きな浮き沈みはない（建設業）                      |
| 好転材料なく、今期の状況が続くと思われる（建設業）                           |
| 主要需要先(建機・工作機械業界)の動向に変化は見られない（卸売業）                   |
| コロナの影響は、まだまだ続いていくと思われる（卸売業）                         |
| 引き続き今期も好調に推移してくるとと思われる（運輸）                          |
| 増減の情報が特にないため（運輸）                                    |
| 先がよめないため（飲食業・宿泊）                                    |
| 飲食人数の制限数がなくなるとよい（飲食業・宿泊）                            |
| コロナが一般の風邪と認証されるまでは不安定な状況が続く（飲食業・宿泊）                 |
| 県民割の全国地域拡大が検討されている（その他サービス業）                        |
| コロナによる利用控えは治まるものの、全体としての利用増は見込めない為（その他サービス業）        |
| 著変なし（その他サービス業）                                      |
| 景気感が弱い（その他サービス業）                                    |
| 良くない見通し（その他サービス業）                                   |

**【来期：悪化の理由】**

|                                  |
|----------------------------------|
| 今はただ忙しくやっているが、売上に結びついていない（鉄工・機械） |
| 観光バス生産の低迷が続く（鉄工・機械）              |
| たとえ受注しても 納期,工期が確定しない（建設業）        |

|  |
|--|
| 為替で120円まで戻せれば、好転（建設業）                                |
| 工事の受注の減少・仕入単価の上昇（建設業）                                |
| 見込み案件、金額ともに減少（建設業）                                   |
| 全ての経費の値上げ、賃金の値上げ、従業員の高齢化で効率が悪くなっている等（小売業）            |
| 店舗減少、オンライン移行の流れ（小売業）                                 |
| 為替レート、物流費、原材料費等高騰で物の動きが悪い、特に石油製品が1年間で40%程上昇している（卸売業） |
| 引き合いが少ない（運輸）   |
| Go To Eat が終了したため（飲食業・宿泊）                            |
| 受注額が減ってきた（その他サービス業）                                  |
| まだまだコロナ前までの景況は戻らないと予想（その他サービス業）                      |

(1)-2 DI値

(単位:DI)

|      |             | 前期      | 今期     | 来期     |
|------|-------------|---------|--------|--------|
| 製造業  | 鉄工・機械       | 4.0     | ▲ 12.0 | 0.0    |
|      | 繊維          | 28.6    | 28.6   | 0.0    |
|      | その他製造       | 0.0     | 0.0    | 0.0    |
|      | 製造計         | 7.9     | ▲ 2.5  | 0.0    |
| 非製造業 | 建設業         | ▲ 26.1  | ▲ 40.9 | ▲ 22.7 |
|      | 小売業         | ▲ 100.0 | ▲ 16.7 | ▲ 33.3 |
|      | 卸売業         | ▲ 54.5  | 0.0    | 0.0    |
|      | サービス業(運輸含む) | ▲ 33.3  | ▲ 6.1  | ▲ 9.1  |
|      | 非製造計        | ▲ 38.0  | ▲ 17.4 | ▲ 14.5 |
| 全 体  |             | ▲ 22.0  | ▲ 11.9 | ▲ 9.2  |
| 改善予測 |             | 2.7     | 2.7    | —      |

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

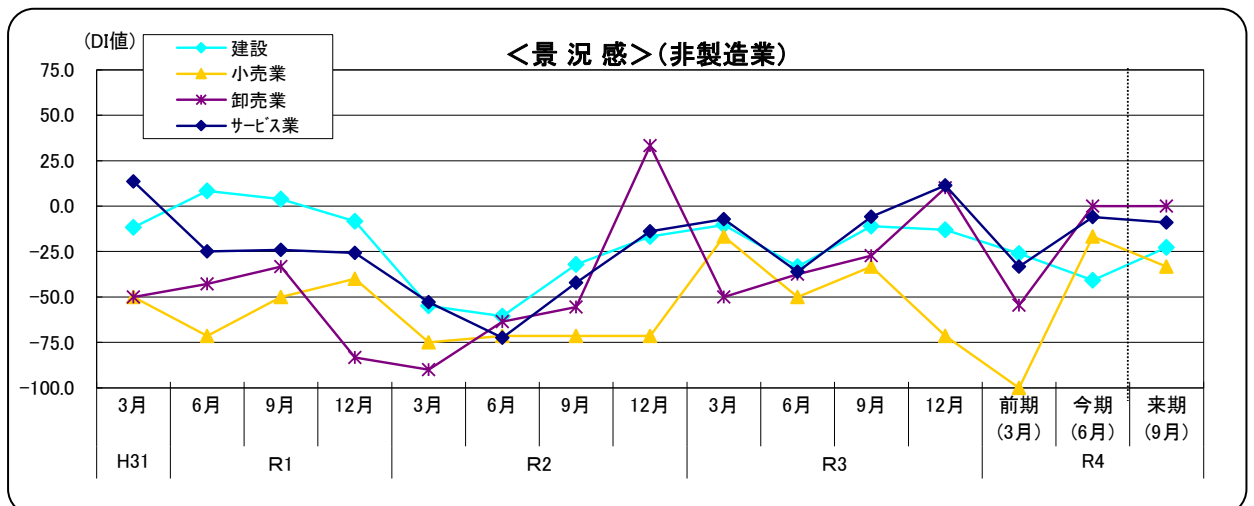
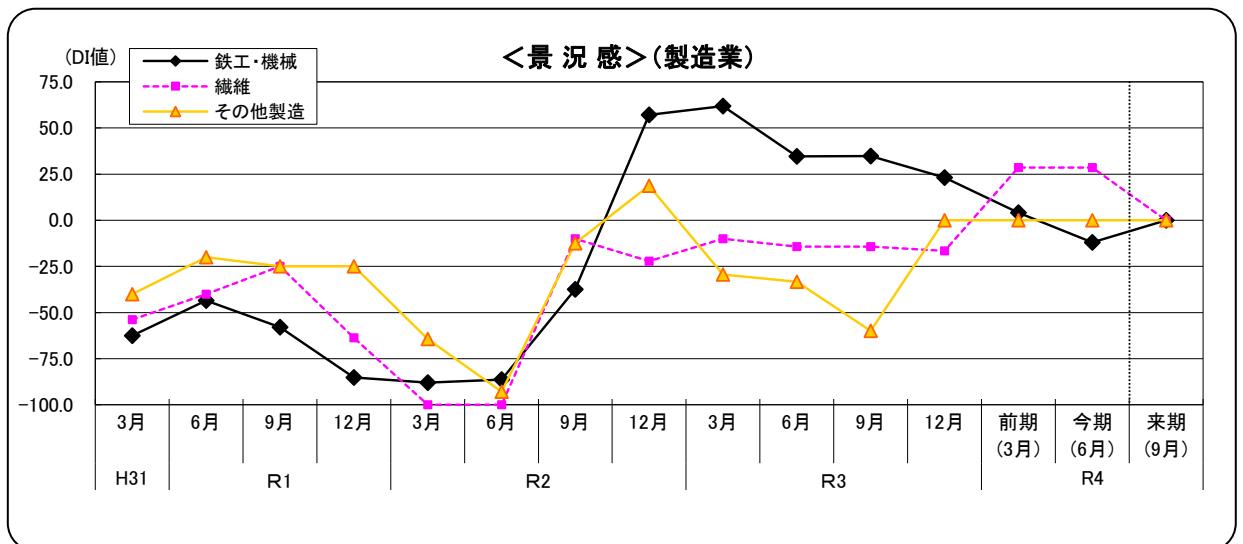
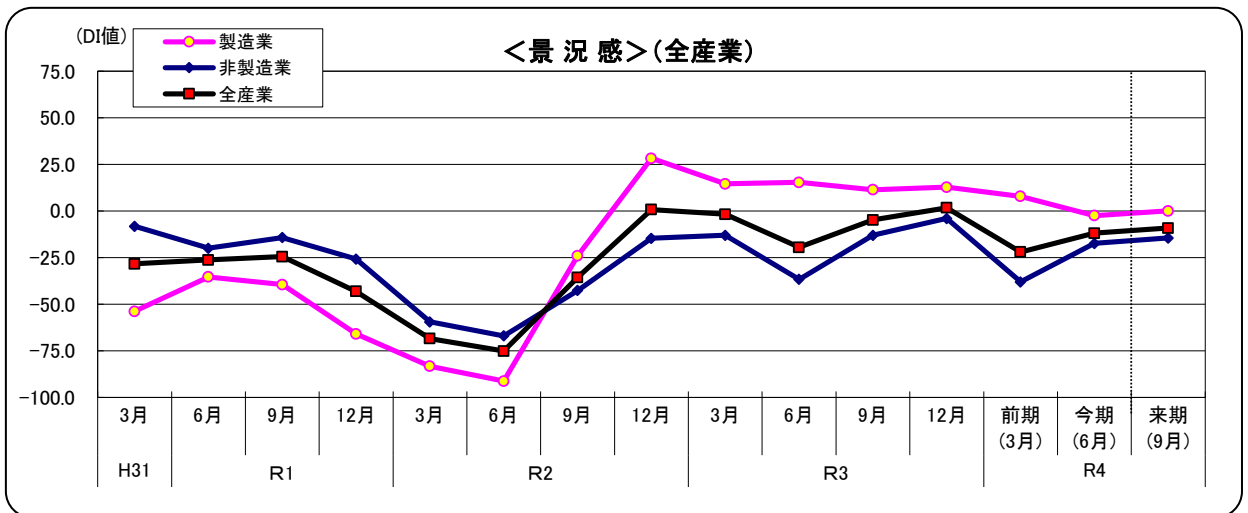
製造業については、高い値で好調であった鉄工・機械が、前期 4.0 ポイント、今期 ▲ 12.0 ポイントと下降が止まらない。一方繊維は、前期・今期共に 28.6 ポイントと高い値が続き、その他製造は、前期、今期共に 0.0 ポイントであった。来期は、3業種とも 0.0 ポイントの見通しである。

非製造業については、建設業は、前期 ▲ 26.1 ポイント、今期 ▲ 40.9 ポイント、来期 ▲ 22.7 ポイント、小売業は、前期 ▲ 100.0 ポイント、今期 ▲ 16.7 ポイント、来期 ▲ 33.3 ポイント、卸売業は、前期 ▲ 54.5 ポイント、今期・来期ともに 0.0 ポイント、サービス業は、前期 ▲ 33.3 ポイント、今期 ▲ 6.1 ポイント、来期 ▲ 9.1 ポイントと、上下の変動が大きい。非製造業全体では、前期 ▲ 38.0 ポイント、今期 ▲ 17.4 ポイント、来期 ▲ 14.5 ポイントと少し改善傾向がみられる。

全体については、前期 ▲ 22.0 ポイント、今期 ▲ 11.9 ポイント、来期 ▲ 9.2 ポイントと、緩やかに上昇している。

まん延防止等重点措置も解除され、Go To イートや県民割り等の再開により消費が活気づいた一方、急激な円安、原油や原材料価格の高騰、ロシアのウクライナ侵攻など、社会情勢は益々厳しくなり、先行きは不透明な状態が続いている。

(1)-3 年次別の推移



(単位:DI)

| 区分   | 今期(R4.6) |      |    | 来期(R4.9) |        |       | 備考   |
|------|----------|------|----|----------|--------|-------|------|
|      | 小松地区     | 北陸三県 | 全国 | 小松地区     | 北陸三県   | 全国    |      |
| 製造業  | ▲ 2.5    | 0    | 1  | ▼ 0.0    | ▼ 7    | ▼ ▲ 1 | 40社  |
| 非製造業 | ▲ 17.4   | ▲ 7  | 4  | ▼ ▲ 14.5 | ▼ ▲ 13 | ▼ 0   | 71社  |
| 全体   | ▲ 11.9   | ▲ 4  | 2  | ▼ ▲ 9.2  | ▼ ▲ 5  | ▼ ▲ 1 | 111社 |

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

## (1)－(5)景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

## 今期(令和4年度第1四半期)の状況

(単位:DI)

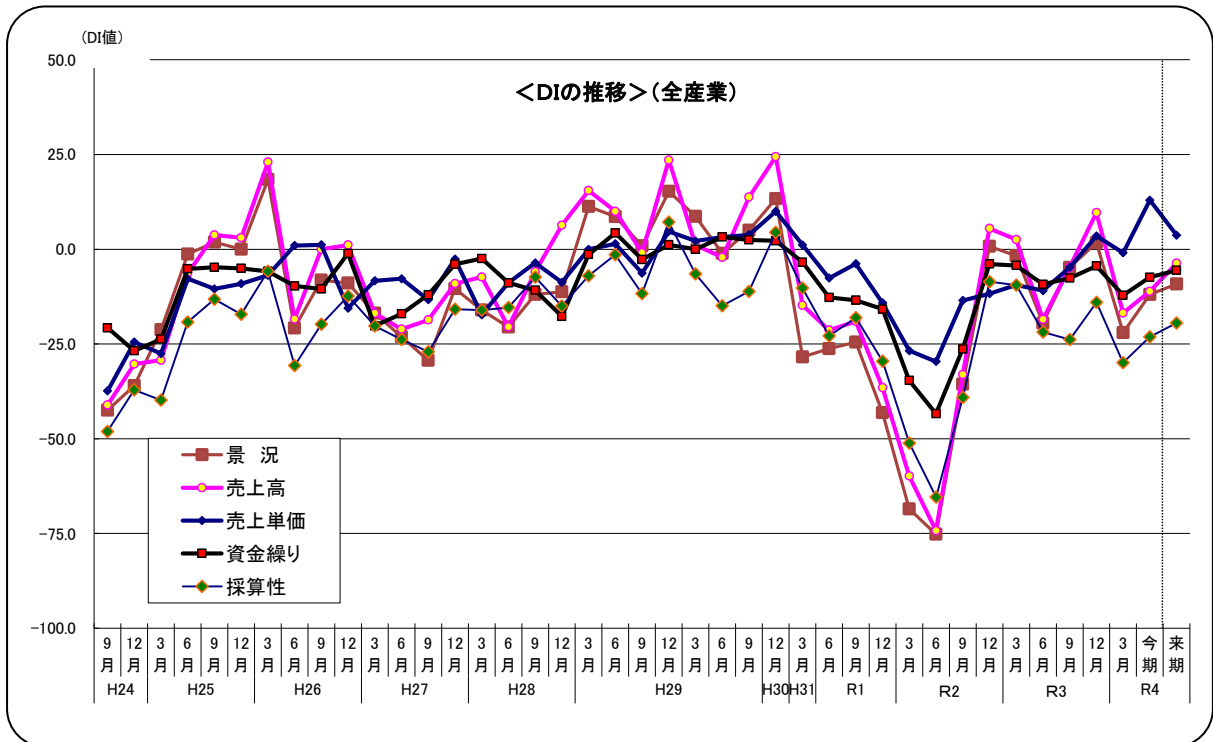
|       | 景況感    | 売上高    | 売上単価  | 資金繰り   | 採算性    |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 鉄工・機械 | ▲ 12.0 | ▲ 12.0 | 20.0  | ▲ 12.0 | ▲ 24.0 |
| 繊維    | 28.6   | 0.0    | 42.9  | ▲ 14.3 | ▲ 14.3 |
| その他製造 | 0.0    | 12.5   | 25.0  | ▲ 12.5 | ▲ 37.5 |
| 建設業   | ▲ 40.9 | ▲ 22.7 | ▲ 4.5 | ▲ 9.1  | ▲ 45.5 |
| 小売業   | ▲ 16.7 | ▲ 28.6 | 0.0   | 16.7   | 0.0    |
| 卸売業   | 0.0    | 0.0    | 50.0  | 0.0    | ▲ 12.5 |
| サービス業 | ▲ 6.1  | ▲ 9.7  | 3.1   | ▲ 6.3  | ▲ 12.5 |
| 全体    | ▲ 11.9 | ▲ 11.1 | 13.0  | ▲ 7.4  | ▲ 23.1 |

## 来期(令和4年度第2四半期)の見通

(単位:DI)

| 業種          | 景況感    | 売上高    | 売上単価  | 資金繰り   | 採算性    |
|-------------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 鉄工・機械       | 0.0    | 0.0    | 8.0   | ▲ 12.0 | ▲ 20.0 |
| 繊維          | 0.0    | 14.3   | 14.3  | 0.0    | 0.0    |
| その他製造       | 0.0    | 0.0    | 12.5  | 12.5   | ▲ 12.5 |
| 建設業         | ▲ 22.7 | ▲ 9.1  | ▲ 9.1 | ▲ 9.1  | ▲ 40.9 |
| 小売業         | ▲ 33.3 | ▲ 28.6 | 0.0   | 16.7   | ▲ 33.3 |
| 卸売業         | 0.0    | 25.0   | 62.5  | 12.5   | 12.5   |
| サービス業       | ▲ 9.1  | ▲ 9.7  | ▲ 9.4 | ▲ 12.5 | ▲ 15.6 |
| 全体          | ▲ 9.2  | ▲ 3.7  | 3.7   | ▲ 5.6  | ▲ 19.4 |
| 改善予測(今回)    | 2.7    | 7.4    | ▲ 9.3 | 1.8    | 3.7    |
| 改善予測(R4.3)  | 2.7    | 0.0    | 9.3   | 0.8    | 0.0    |
| 改善予測(R3.12) | ▲ 0.9  | ▲ 11.4 | ▲ 6.2 | ▲ 5.4  | ▲ 9.0  |

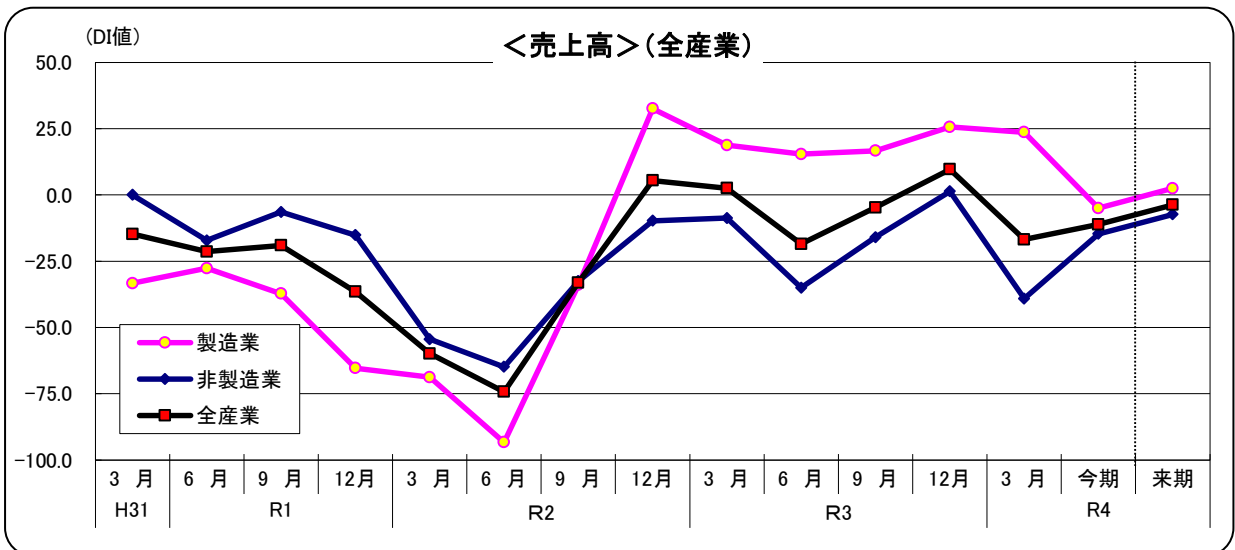




2) 売上高

(単位: DI)

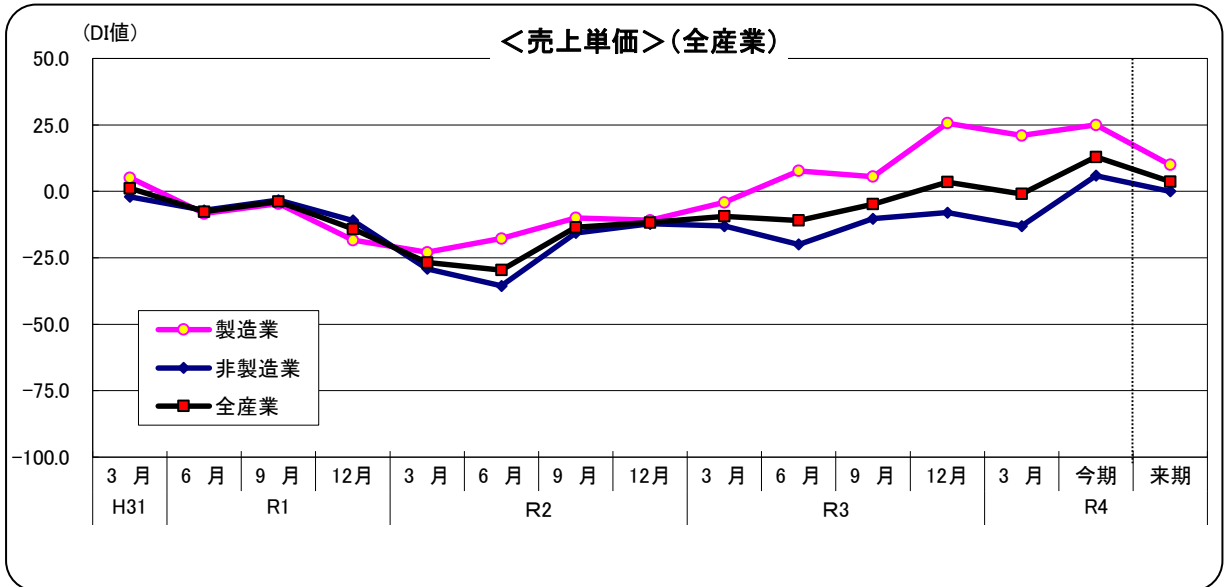
|    | 製造業    |      |      |       | 非製造業   |        |        |        |        | 全産業    |
|----|--------|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|    | 鉄工・機械  | 繊維   | その他  | 製造計   | 建設業    | 小売業    | 卸売業    | サービス業  | 非製造計   |        |
| 来期 | 0.0    | 14.3 | 0.0  | 2.5   | ▲ 9.1  | ▲ 28.6 | 25.0   | ▲ 9.7  | ▲ 7.4  | ▲ 3.7  |
| 今期 | ▲ 12.0 | 0.0  | 12.5 | ▲ 5.0 | ▲ 22.7 | ▲ 28.6 | 0.0    | ▲ 9.7  | ▲ 14.7 | ▲ 11.1 |
| 前期 | 16.0   | 28.6 | 50.0 | 23.7  | ▲ 34.8 | ▲ 50.0 | ▲ 36.4 | ▲ 41.9 | ▲ 39.1 | ▲ 16.8 |



(3) 売上単価

(単位:DI)

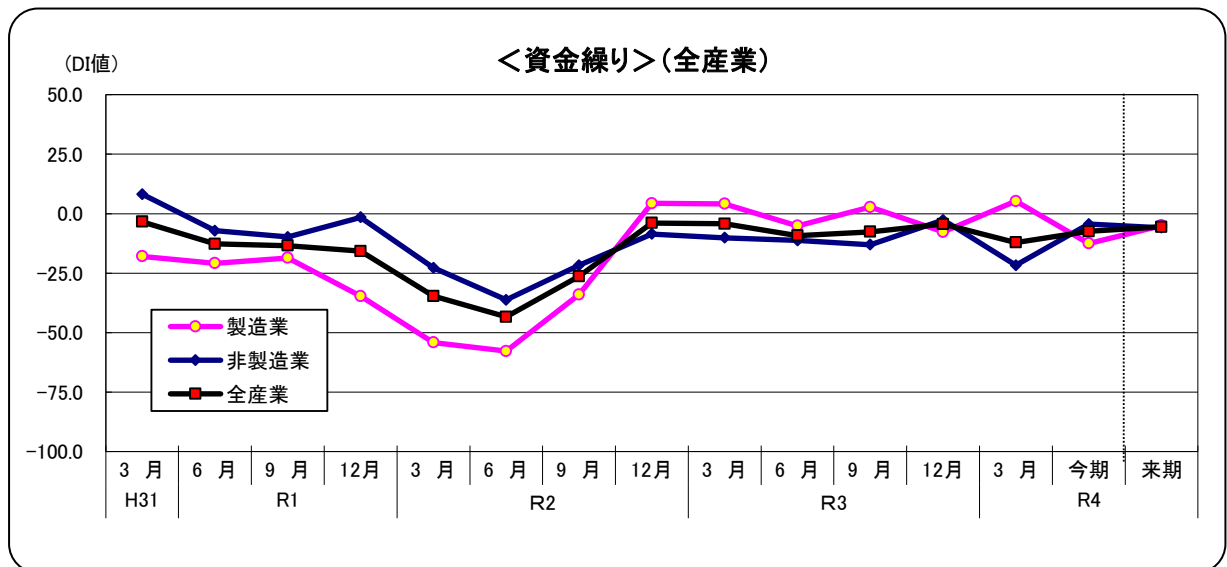
|    | 製造業   |      |      |      | 非製造業  |        |      |        |        | 全産業   |
|----|-------|------|------|------|-------|--------|------|--------|--------|-------|
|    | 鉄工・機械 | 繊維   | その他  | 製造計  | 建設業   | 小売業    | 卸売業  | サービス業  | 非製造計   |       |
| 来期 | 8.0   | 14.3 | 12.5 | 10.0 | ▲ 9.1 | 0.0    | 62.5 | ▲ 9.4  | 0.0    | 3.7   |
| 今期 | 20.0  | 42.9 | 25.0 | 25.0 | ▲ 4.5 | 0.0    | 50.0 | 3.1    | 5.9    | 13.0  |
| 前期 | 24.0  | 28.6 | 0.0  | 21.1 | 4.3   | ▲ 25.0 | 9.1  | ▲ 32.3 | ▲ 13.0 | ▲ 0.9 |



(4) 資金繰り

(単位:DI)

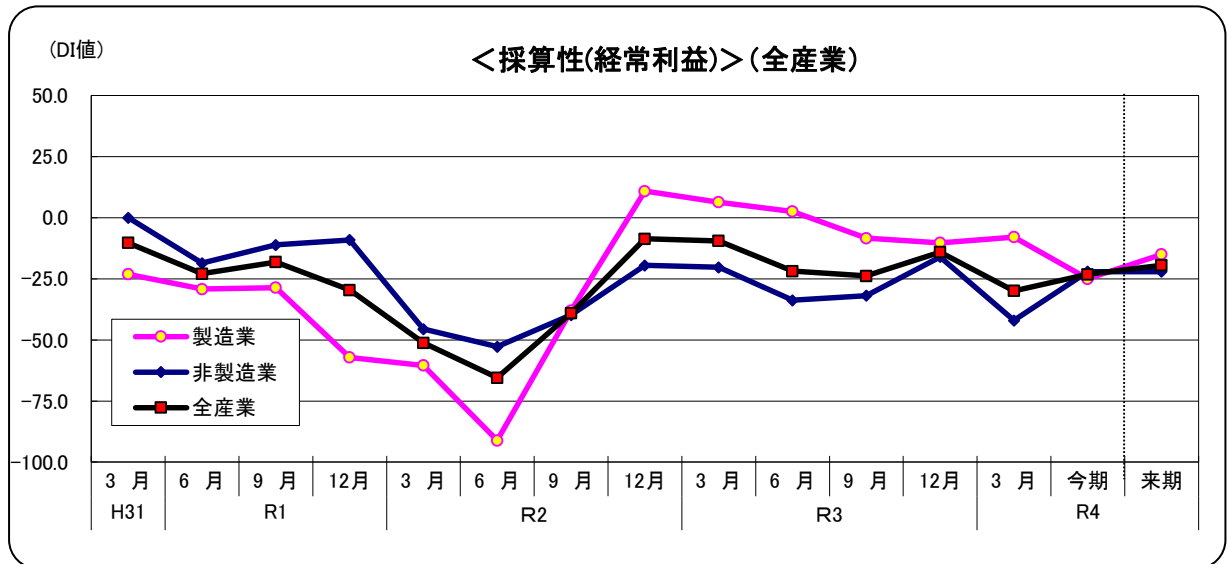
|    | 製造業    |        |        |        | 非製造業  |        |      |        |        | 全産業    |
|----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|------|--------|--------|--------|
|    | 鉄工・機械  | 繊維     | その他    | 製造計    | 建設業   | 小売業    | 卸売業  | サービス業  | 非製造計   |        |
| 来期 | ▲ 12.0 | 0.0    | 12.5   | ▲ 5.0  | ▲ 9.1 | 16.7   | 12.5 | ▲ 12.5 | ▲ 5.9  | ▲ 5.6  |
| 今期 | ▲ 12.0 | ▲ 14.3 | ▲ 12.5 | ▲ 12.5 | ▲ 9.1 | 16.7   | 0.0  | ▲ 6.3  | ▲ 4.4  | ▲ 7.4  |
| 前期 | ▲ 4.0  | 28.6   | 16.7   | 5.3    | ▲ 8.7 | ▲ 50.0 | 0.0  | ▲ 35.5 | ▲ 21.7 | ▲ 12.1 |



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

|    | 製造業    |        |        |        | 非製造業   |        |        |        |        | 全産業    |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|    | 鉄工・機械  | 繊維     | その他    | 製造計    | 建設業    | 小売業    | 卸売業    | サービス業  | 非製造計   |        |
| 来期 | ▲ 20.0 | 0.0    | ▲ 12.5 | ▲ 15.0 | ▲ 40.9 | ▲ 33.3 | 12.5   | ▲ 15.6 | ▲ 22.1 | ▲ 19.4 |
| 今期 | ▲ 24.0 | ▲ 14.3 | ▲ 37.5 | ▲ 25.0 | ▲ 45.5 | 0.0    | ▲ 12.5 | ▲ 12.5 | ▲ 22.1 | ▲ 23.1 |
| 前期 | ▲ 12.0 | 14.3   | ▲ 16.7 | ▲ 7.9  | ▲ 43.5 | ▲ 50.0 | ▲ 45.5 | ▲ 38.7 | ▲ 42.0 | ▲ 29.9 |



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=108)

|                  |     |       |       |
|------------------|-----|-------|-------|
| 仕入単価の上昇          | 61社 | 56.5% | 56.5% |
| 原材料の高騰           | 58社 | 53.7% | 53.7% |
| エネルギーコストの増加      | 51社 | 47.2% | 47.2% |
| 経費の増加            | 45社 | 41.7% | 41.7% |
| 従業員の確保難          | 35社 | 32.4% | 32.4% |
| 需要の停滞、売上の減少      | 24社 | 22.2% | 22.2% |
| 新型コロナウイルスによる売上減少 | 20社 | 18.5% | 18.5% |
| 販売単価の低下・上昇難      | 17社 | 15.7% | 15.7% |
| 競争の激化            | 14社 | 13.0% | 13.0% |
| 後継者の育成・確保        | 9社  | 8.3%  | 8.3%  |
| その他              | 3社  | 2.8%  | 2.8%  |

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

|                            |
|----------------------------|
| 従業員の高齢化に伴う技術の伝承、若返り(鉄工・機械) |
| コロナの影響による対面営業の制約(その他サービス業) |
| 半導体不足による納期の遅れ(その他サービス業)    |

|                  | 鉄工・機械<br>(n=25) | 繊維<br>(n=7) | その他製造<br>(n=7) | 建設業<br>(n=22) | 小売業<br>(n=6) | 卸売業<br>(n=8) | サービス業<br>(n=33) |
|------------------|-----------------|-------------|----------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|
| 仕入単価の上昇          | 64.0%           | 71.4%       | 57.1%          | 59.1%         | 50.0%        | 87.5%        | 39.4%           |
| 原材料の高騰           | 80.0%           | 85.7%       | 71.4%          | 59.1%         | 33.3%        | 62.5%        | 21.2%           |
| エネルギーコストの増加      | 68.0%           | 85.7%       | 57.1%          | 31.8%         | 50.0%        | 50.0%        | 30.3%           |
| 経費の増加            | 40.0%           | 85.7%       | 42.9%          | 27.3%         | 50.0%        | 62.5%        | 36.4%           |
| 従業員の確保難          | 44.0%           | 14.3%       | 0.0%           | 40.9%         | 33.3%        | 25.0%        | 30.3%           |
| 需要の停滞、売上の減少      | 12.0%           | 28.6%       | 28.6%          | 27.3%         | 50.0%        | 25.0%        | 15.2%           |
| 新型コロナウイルスによる売上減少 | 8.0%            | 28.6%       | 42.9%          | 9.1%          | 33.3%        | 12.5%        | 24.2%           |
| 販売単価の低下・上昇難      | 16.0%           | 28.6%       | 14.3%          | 18.2%         | 33.3%        | 25.0%        | 6.1%            |
| 競争の激化            | 4.0%            | 14.3%       | 0.0%           | 18.2%         | 50.0%        | 25.0%        | 9.1%            |
| 後継者の育成・確保        | 12.0%           | 14.3%       | 0.0%           | 9.1%          | 0.0%         | 0.0%         | 9.1%            |
| その他              | 4.0%            | 0.0%        | 0.0%           | 0.0%          | 0.0%         | 0.0%         | 6.1%            |

#### Q具体的な問題点や対応策

|   |
|---|
| 塗料、副資材、燃料、電気 あらゆる経費単価上昇への売上転嫁（鉄工・機械）                                    |
| 原材料高騰分の価格転嫁（鉄工・機械）  |
| 材料の高騰、電力料の高騰等、課題は大きい（鉄工・機械）   |
| 原材料の仕入価格上昇分が売価に反映されない得意先がある（鉄工・機械）                                      |
| 消耗品の上昇分を価格転嫁するのが難しい。実習生を受け入れている為に継続採用が出来ておらず、作業員の固定が出来ていない（鉄工・機械）       |
| 原材料に関しては主メーカーに申請を行う書類を作成中。従業員確保については対応策がないのが現状である（鉄工・機械）                |
| 経費の増加については、客先に申請中、従業員の確保については安定所へ提出（鉄工・機械）                              |
| 省エネ投資と販売価格への転嫁活動（鉄工・機械）   |
| 定期的な新規採用、職場ローテーション（鉄工・機械）   |
| 原材料や仕入れ分の値上げは渋々認めてもらえそうだが、その他の労務費やエネルギーコストの上昇分については、なかなか認めてもらえない（鉄工・機械） |
| 今まで停滞していたところに注文が増えても、原材料を十分に購入出来る資金が厳しい（繊維）                             |
| 今後の仕事内容(商流など)に対する魅力向上が必要（繊維）  |
| さらなる経費削減の実施（その他製造）  |
| 仕入れ(原材料等)が全て上がっている（その他製造）   |
| 仕入、燃料が上がっているが、販売価格に転嫁出来ず、収益性が悪化していく（その他製造）                              |
| 従業員が高齢化の為、早急に若い従業員の手当が必要（建設業）   |
| 製品が入荷しない。納期が長期にわたる（建設業）   |
| 工事原価の管理強化（建設業）  |
| 採用活動の強化、人材確保の強化を図っている（建設業）  |
| エネルギー・輸送費・原材料などの経費の大きな増大を価格転嫁できない状況（小売業）                                |
| パートナー店員を募集しても、応募が少ない（小売業）   |
| オンライン化へ（小売業）  |
| 同業社の価格転嫁の動きが揃わない（卸売業）   |
| 売上単価を上げる（卸売業）   |
| 従業員の高齢化が問題 若手の中途採用を進めたいが応募がない（運輸）                                       |
| 新卒の採用（運輸）   |
| 応募者がいない（運輸）   |

|   |
|---|
| 会社単位の食事会がない→個人の顧客満足度を高め、家族とだけでなく、コロナ禍での行動制限が緩和された際に、別のグループ(会社)でも来て頂けるようにつなげる努力を続ける (飲食業・宿泊) |
| ロシア・ウクライナの戦争・円安により、仕入単価が毎月上昇している(公共料金も)。在庫圧縮、節電、節水などで対応する (飲食業・宿泊)                          |
| 世界的に、コロナ、ウクライナなどで原材料高め (飲食業・宿泊)   |
| コロナで飲食業離れしたスタッフが多数いる。対応できれば問題ではない (飲食業・宿泊)  |
| 新システムの導入を考えている (その他サービス業)   |
| 車の販売 (その他サービス業)   |
| 特になし  |

## ■ その他、意見・要望

|   |
|---|
| ①省エネは企業活動にすでに定着している行動かと…。行政の支援なしには零細企業単独では限度がある。また補助事業での提出書類等をコンサル等でお願いするしか時間を作れず、何の為の補助か解りかねる。事業所単独で経費を掛けずに行える補助が望ましい（鉄工・機械） |
| ②地球温暖化はCO2と関係があるのか疑問である。それよりも山火事を防いだ方が良いのでは（鉄工・機械）  |
| ③補助金、助成金の充実（繊維）   |
| ④コロナに対する対策はもう緩めてもよいのでは（その他製造）   |
| ⑤このまま円安が進めば、大変な事になりそう（建設業）  |

## 会議所コメント：

### ①②③④⑤

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

### ①②③④⑤

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

## 【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを始めました。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



**議員・評議員各位**  
**「小松商工会議所景気見通し調査」**  
**「新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い**

本所では、議員・評議員を対象に、景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を四半期毎に実施しています。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 \_\_\_\_\_ (個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸  
 6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業  
 従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名  
 5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

**景況・業況の動向**

○前期＝令和3年度第4四半期(令和4年1月～3月)

○今期＝令和4年度第1四半期(令和4年4月～6月、但し6月は見込み)

○来期＝令和4年度第2四半期(令和4年7月～9月)

|              | I. 今期(第1四半期)の状況               | II. 来期(第2四半期)の見通し              |
|--------------|-------------------------------|--------------------------------|
|              | 前期(第4四半期)と比べた<br>今期(第1四半期)の状況 | 今期(第1四半期)と比べた<br>来期(第2四半期)の見通し |
| 1. 景況感       | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化             | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化              |
| 2. 売上高       | 1. 増加 2. 不変 3. 減少             | 1. 増加 2. 不変 3. 減少              |
| 3. 売上単価      | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下             | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下              |
| 4. 資金繰り      | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化             | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化              |
| 5. 採算性(経常利益) | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化             | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化              |

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

**今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)**

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇          | 3. 経費の増加               |
| 4. 販売単価の低下・上昇難      | 5. エネルギーコストの増加         |
| 6. 原材料の高騰           | 7. 需要の停滞、売上の減少         |
| 8. 従業員の確保難          | 9. 後継者の育成・確保           |
| 10. その他( )          |                        |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

## 新型コロナウイルスによる売上減少について

【設問1】令和3年同月と比べた令和4年5月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問2】令和3年同月と比べた令和4年4月～6月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問3】(設問2で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満                      2. +20%程度                      3. +30%程度                      4. +40%程度                      5. +50%以上

【設問4】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和4年5月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問5】コロナ禍前の令和元年同月と比べた令和4年4月～6月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問6】(設問5で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満                      2. +20%程度                      3. +30%程度                      4. +40%程度                      5. +50%以上

## カーボンニュートラルについて

地球温暖化対策について、昨年のCOP26において「気温上昇を産業革命前から1.5℃以内に抑える」という目標に向け努力することで新たな合意がなされ、世界各国でカーボンニュートラルに向けた取組みが加速しています。2050年カーボンニュートラルや2030年度の削減目標を実現するためには、地域や企業における脱炭素化への取組みが重要となっています。

【設問7】カーボンニュートラルに対する取組み状況についてお聞かせください。

1. 既に取り組んでいる                      2. 取組みを検討している  
3. 取り組んでいない

【設問8】(設問7で「選択肢1・2」を選択した方にお伺いします)取り組む目的についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 企業の社会的責任(CSR)                      2. SDGs・ESG(環境・社会・ガバナンス)への対応  
3. 政府・自治体等の行政方針への対応                      4. ビジネスチャンスが見込めるため  
5. 自社のブランド力・イメージ向上                      6. 将来の規制への対応等リスク軽減が見込めるため  
7. 電気料金などコスト削減の期待                      8. 環境規制など法令順守の視点から  
9. 人材の確保・定着につながる                      10. 取引先の要請に対応するため  
11. その他(                      )



【設問9】(設問7で「選択肢1・2」を選択した方にお伺いします)次の項目の中で貴社が「現在行っている取組み」「検討を予定している取組み」についてお聞かせください。(複数回答可:該当箇所を☑してください)

|                          | 現在行っている取組み               | 検討を予定している取組み             |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ①自社のエネルギー使用量の把握          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②自社の温室効果ガス排出量の削減         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③省エネ・温室効果ガスに関する目標の設定     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④担当部署・担当者の設置             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤見学会・勉強会への参加・開催          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥省エネ活動(照明・冷暖房等の使用電力等削減)  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦生産設備の省エネ設備への切替          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧環境負荷の少ない原材料や部品の利用       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨再生エネルギー発電の購入・導入         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑩HV・EV・FCVなどの導入          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑪3R(リユース・リデュース・リサイクル)の推進 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑫環境保護・保全活動等への支援・寄付       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑬環境技術の研究開発・投資促進          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑭環境配慮型の新製品・サービスの開発・販売    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑮Jクレジット制度への参加            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

【設問10】カーボンニュートラルに取り組むにあたっての課題、取組まない理由についてお聞かせください(複数回答可)

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. コスト負担の増大         | 2. コストに見合う効果が期待できない      |
| 3. コストを価格に転嫁できない    | 4. 専門知識やノウハウの不足          |
| 5. 対応できる人材の不足       | 6. 取り組みに向けた時間・人員の確保ができない |
| 7. 取引先や従業員の理解が得られない | 8. 何をすべきか分からない           |
| 9. どこに相談すべきか分からない   | 10. 経営上の優先順位が低い          |
| 11. 特に課題はない         | 12. その他( )               |

【設問11】国や自治体に期待する支援策についてお聞かせください(複数回答可)

- |                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 再エネや蓄電池の導入支援          | 2. 省エネ化に対する補助の充実             |
| 3. 使用機器の更新に対する補助の充実      | 4. EVの導入促進(充電スタンド設置強化・購入補助等) |
| 5. 再エネによる電力購入の支援         | 6. セミナー・シンポジウム・イベントの充実       |
| 7. アドバイザー派遣を通じた社内人材の育成支援 | 8. 具体的事例や施策などの情報提供           |
| 9. 企業活動への評価・表彰制度の導入      | 10. 取組企業へのインセンティブ            |
| 11. 商品開発や企業間交流、マッチング支援   | 12. 電力小売事業や再エネ事業への参入支援       |
| 13. エネルギー転換のための新技術の導入支援  | 14. その他( )                   |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

■下記アドレス・QRコードからも回答可能です。 ※下記からご回答の際は、次回調査よりメールでのご案内となります

【令和4年度第1四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/oNYUQ1voENzL4HdR6>

回答締切:6月23日(木)必着 (FAX:21-3120 までご返信ください)

